

# 佛教文學

第二十七号

## 目 次

〔平成十四年度佛教文学学会大会講演〕

中世以降における唱導の展開

江戸時代の遊行上人 ..... 関山 和夫(一)  
——五十一代賦存を中心として——

〔平成十三年度支部五月例会シンポジウム「縁起・本地物研究の現在」〕

縁起・本地物の範囲 ..... 石川 透(三〇)  
『神道集』所収話と在地縁起伝承 ..... 大島 由紀夫(三六)

「大峯縁起」相伝小考 ..... 川崎 剛志(四九)  
「本地物」の四周 ..... 牧野 和夫(三三)

——「拡がり」の方向性からの提案——

〔論 文〕  
スタソーマ王本生譚の原型と展開 ..... 中村 史(壹)  
「竹人説話」生成論 ..... 奥田 静代(七八)

——義範と範俊に関する一連の説話群を中心にして——

『方丈記』序章試論 ..... 芝波田 好弘(九九)  
——天台の三諦説との関連において——

明惠上人伝記の研究 ..... 野村 卓美(一一)  
——『漢文行状』巻中 春日大明神降臨説話再考——

『覺鏡聖人伝法会談義打聞集』伝法堂談義の説話とその背景 ..... 藤井 佐美(一二三)

「連れぬ御娶り」考 ..... 金善花(三四)  
——『とはづがたり』における仏教的宿世觀——

『慈巧上人極樂往生問答』の諸本とその特徴 ..... 恋田 知子(四七)

芥川龍之介『蜘蛛の糸』原作の主題 ..... 長尾 佳代子(五六)  
——ボル・ケーラスが『カルマ』で言おうとしたこと——

武田泰淳『審判』の底流 ..... 木田 隆文(七三)  
——昭和十年前後の仏教言説から——

- 『太平御覽』釈部の成立 ..... 三田 明弘(八五)  
〔資料紹介〕  
『陽明文庫所蔵『南山講式』——解説と翻刻—— ..... 高橋 美香(五七)  
彙報 ..... (103)  
〔佛教文学〕既刊号総目次 ..... (111)  
佛教文学学会会則 ..... (1111)  
事務局だより

## 「佛教文學」既刊号總目次

創刊号（昭和五十二年三月発行）

『雜談集』出典考

日本靈異記について

永久年中書写本「出家作法」をめぐつて

わが国における十王經—奪衣婆の所伝を中心

に—

【発心集】における伝承受容の一つ方法

—「内記入道寂心事」（巻二）の場合—

法談物資料「勸化文選」

茂吉と明恵—月詠歌の系譜

白土　わか

石破　洋

【月講式】をめぐつて—長明発心検討—

法談物資料「勸化文選」

小林　保治

山内　啓介

藤森　賢一

萬葉集に表われた無常感

有田　靜昭

白鳥の裔—靈異記上巻十三縁考—

高橋　貞一

今昔物語集第十九ノ第二十九説話の変

## 彙報

第五号（昭和五十六年三月発行）

『日本靈異記』にみる聖德太子試論

増古　和子

高橋　貞一

建礼門院と妙音菩薩—『長門本平家物語』

灌頂巻を手懸りとして—

榎　泰純

眞字本『曾我物語』における仏教—伊藤

妃の形象を通して—

龍口　恭子

法談と譬喩

『平太郎事蹟談』の成立

後小路　薰

第六号（昭和五十七年三月発行）

彙報

仏教文学関係文献目録（昭和五十四年度）

寺園　司

- 小林　一臣  
萩野文庫本『宝物集』の性格—義孝往生説話を中心に—  
南里みち子  
石田　瑞廣  
三木　幸信  
『閑居友』上巻第十一話について  
浜千代　清  
管弦往生試論—『発心集』を中心にして  
榎　泰純  
『關居友』上巻第十一話について  
浜千代　清  
狂言綺語観と中世初頭の歌人  
佐々木克衛  
版本「九相詩」成立考  
青木　清彦  
仏教文学雑感  
土岐　善麿  
仏教文学関係研究文献目録（昭和五十一  
年度）  
年處  
彙報  
第三号（昭和五十四年三月発行）  
糸衣と源氏「鈴虫巻」との典拠について  
土岐　武治  
糸衣の道心  
奈良崎聖子  
第三号（昭和五十四年三月発行）  
今昔卷十四「弘法大師挑修円僧都語第四  
十」の検討  
未武　恭子  
『慈鎮和尚夢想記』に就て  
間中富士子  
法華持経者の話—本朝法華驗記の一側面—  
廣田　哲通  
『守覚法親王集』の研究—家集の成立につ  
いて  
永井　義憲  
説草と仏教説話集の成立  
下釜　逸子  
金言類聚抄について—仏典類書の成立—  
小峯　和明  
『増賀上人夢記』—増賀伝の新資料につ  
いて  
阿部　泰郎  
中世地蔵説話集の編纂をめぐつて  
渡　浩一  
『松尾明神の説話』  
南里みち子  
第七号（昭和五十八年三月発行）  
『今昔物語集』の構造をめぐつて  
司会　黒部　通善  
問題提起者　森　正人  
小峯　和明  
『日本靈異記』の〈仮法〉と〈王法〉  
佛教文学会会員名簿（前号補訂分）  
第八号（昭和五十九年三月発行）  
西行と『菩提心論』  
山田　昭全  
佛教文学関係文献目録（昭和五十六年度）  
彙報  
佛教文学会会員名簿（前号補訂分）  
第九号（昭和六十一年三月発行）  
西行と『菩提心論』  
山田　昭全  
佛教と和歌—西行积教歌注释音—  
久保田　淳  
『二十五三昧式』について—その変遷過程  
清水　宥聖  
西行和歌の表現と仏教的思念  
山木　幸一

『沙石集』慶長本について 片岡 了

明惠上人と京極派和歌 岩佐美代子

天台の五時八教と大鏡 國枝 利久

『今昔物語集』卷十四の諸經靈驗譚について 八坂流平家物語維盛入水の前後の章について 西海 淳二

佛教文学関係文献目録（昭和五十七年度） 米谷 悅子

八坂流平家物語維盛入水の前後の章について 西海 淳二

佛教文学関係文献目録（昭和五十七年度） 米谷 悅子

佛教文学会員名簿（六・七号補訂分） 番報

佛教文学会員名簿（六・七号補訂分） 番報

佛教文学会員名簿（六・七号補訂分） 番報

佛教文学会員名簿（六・七号補訂分） 番報

第九号（昭和六十一年三月発行） 法然の方法—法話と釈教和歌の表現—

『古本説話集』の諸性格と問題点 築瀬 一雄

『平家』法然譯流伝考 高橋 渡辺 貞麿

『発心集』構造試論—円頓止觀の体現として— 花山 聰

西行における白のイメージ 竹内 隆

藤原俊成の釈教歌における伝統の継承 山本 一

『発心集』論のために— 藤原俊成の釈教歌における伝統の継承 山本 一

和讃の受容と変貌 武石 彰夫

今昔物語集における〈天竺〉—意識と表現による天竺化をめぐって— 前田 雅之

親鸞と屠児往生説話 河田 光夫

二経の勝劣をめぐつて—天台の義科と説話 出産と中百歳—吉田兼復『中百歲抄』の周辺

— 講話の流傳—清涼寺釈迦像縁起譚をめぐつて— 廣田 哲通

『夫婦宗論物語』研究 宮田 寿栄

『救われざる者』から「救われうる者」 宮田 寿栄

御巫本・鈴鹿本大和物語の一側面 新間 水緒

昭和六十一年度会員業績報告

彙報・執筆者紹介 佛教文学会員名簿（佛教文学会員名簿補訂分）

佛教文学会員名簿（佛教文学会員名簿補訂分）

佛教文学会員名簿（佛教文学会員名簿補訂分）

『一休水鏡』の研究 青山 忠一

佛教文学会研究発表要旨・会員業績報告（昭和六十年度）

説法と和歌—徳本上人の場合について— 築瀬 一雄

『小阿弥陀経私抄』所引の和歌と説話 高橋 伸幸

『阿弥陀経見聞私』の和歌と説話 廣田 哲通

『阿弥陀経見聞私』・『西行房上（聖）人』 牧野 和夫

『源氏物語』と仏教 三角 洋一

『尼公』の命名法 米井 力也

中世の和泉式部—叡山の伝承より— 濱中 修

『うてのつかひ』と「うさぎのつかひ」—

|                       |       |       |
|-----------------------|-------|-------|
| 小栗遺跡 改                | 檜垣 泰代 | 小山 一成 |
| 『靈異記』の鳥—中巻第二話の構造—     | 國枝 利久 | 千本 英史 |
| 佛教文学関係研究文献目録（昭和五十九年度） | 西海 淳二 | 小峯 和明 |
| 金言類聚抄考補訂              | 米谷 悅子 | 千本 英史 |
| 佛教文学関係研究文献目録（昭和五十九年度） | 西海 淳二 | 小峯 和明 |
| 佛教文学会員名簿（前号補訂分）       | 米谷 悅子 | 千本 英史 |
| 佛教文学会員名簿（前号補訂分）       | 米谷 悅子 | 千本 英史 |
| 佛教文学会員名簿（前号補訂分）       | 米谷 悅子 | 千本 英史 |

|                              |       |                       |
|------------------------------|-------|-----------------------|
| 「河海抄」注「女人為業障」の句を中心とに         | 渕江 文也 | 檜垣 泰代                 |
| 『今昔物語集』にみる墮地獄者の位相            | 仲井 克巳 | りごけ』—                 |
| 『月講式』再検 磯 水絵                 | 富山 卓美 | 小林 純子                 |
| 『発心集』卷三・第九話「樵夫独覺の事」について      | 野村 卓美 | 『靈異記』の鳥—中巻第二話の構造—     |
| 道家を悩ます人々—慶政筆錄『比良山古人靈託』成立の背景— | 榎 伸也  | 佛教文学関係研究文献目録（昭和五十九年度） |
| 『沙石集』にみられる往生思想の一考察           | 榎 伸也  | 『河海抄』注「女人為業障」の句を中心とに  |
| —「浄土房遁世事」を中心として—             | 榎 伸也  | 「佛敎文學」既刊号目次           |
| 『とはづがたり』神祇説話考                | 山崎 敏  | 佛教文学会員名簿（前号補訂分）       |
| 『とはづがたり』神祇説話考                | 山崎 敏  | 佛教文学会員名簿（前号補訂分）       |
| 『とはづがたり』神祇説話考                | 山崎 敏  | 佛教文学会員名簿（前号補訂分）       |

|                              |       |                       |
|------------------------------|-------|-----------------------|
| 「河海抄」注「女人為業障」の句を中心とに         | 渕江 文也 | 檜垣 泰代                 |
| 『今昔物語集』にみる墮地獄者の位相            | 仲井 克巳 | りごけ』—                 |
| 『月講式』再検 磯 水絵                 | 富山 卓美 | 小林 純子                 |
| 『発心集』卷三・第九話「樵夫独覺の事」について      | 野村 卓美 | 『靈異記』の鳥—中巻第二話の構造—     |
| 道家を悩ます人々—慶政筆錄『比良山古人靈託』成立の背景— | 榎 伸也  | 佛教文学関係研究文献目録（昭和五十九年度） |
| 『沙石集』にみられる往生思想の一考察           | 榎 伸也  | 『河海抄』注「女人為業障」の句を中心とに  |
| —「浄土房遁世事」を中心として—             | 榎 伸也  | 「佛敎文學」既刊号目次           |
| 『とはづがたり』神祇説話考                | 山崎 敏  | 佛教文学会員名簿（前号補訂分）       |
| 『とはづがたり』神祇説話考                | 山崎 敏  | 佛教文学会員名簿（前号補訂分）       |
| 『とはづがたり』神祇説話考                | 山崎 敏  | 佛教文学会員名簿（前号補訂分）       |

|  |  |  |
|--|--|--|
| 第十号（昭和六十一年三月発行）                          | 和讃の受容と変貌 武石 彰夫                           | 和讃の受容と変貌 武石 彰夫                           |
| 和讃の受容と変貌 武石 彰夫                           | 今昔物語集における〈天竺〉—意識と表現による天竺化をめぐつて— 前田 雅之    | 今昔物語集における〈天竺〉—意識と表現による天竺化をめぐつて— 前田 雅之    |
| 今昔物語集における〈天竺〉—意識と表現による天竺化をめぐつて— 前田 雅之    | 親鸞と屠児往生説話 河田 光夫                          | 親鸞と屠児往生説話 河田 光夫                          |
| 親鸞と屠児往生説話 河田 光夫                          | 二経の勝劣をめぐつて—天台の義科と説話 出産と中百歳—吉田兼復『中百歳抄』の周辺 | 二経の勝劣をめぐつて—天台の義科と説話 出産と中百歳—吉田兼復『中百歳抄』の周辺 |
| 二経の勝劣をめぐつて—天台の義科と説話 出産と中百歳—吉田兼復『中百歳抄』の周辺 | 説話の流傳—清涼寺釈迦像縁起譚をめぐつて— 廣田 哲通              | 説話の流傳—清涼寺釈迦像縁起譚をめぐつて— 廣田 哲通              |
| 説話の流傳—清涼寺釈迦像縁起譚をめぐつて— 廣田 哲通              | 『夫婦宗論物語』研究 宮田 寿栄                         | 『夫婦宗論物語』研究 宮田 寿栄                         |
| 『夫婦宗論物語』研究 宮田 寿栄                         | 『救われざる者』から「救われうる者」 宮田 寿栄                 | 『救われざる者』から「救われうる者」 宮田 寿栄                 |
| 『救われざる者』から「救われうる者」 宫田 寿栄                 | 御巫本・鈴鹿本大和物語の一側面 新間 水緒                    | 御巫本・鈴鹿本大和物語の一側面 新間 水緒                    |
| 御巫本・鈴鹿本大和物語の一側面 新間 水緒                    | 昭和六十一年度会員業績報告                            | 昭和六十一年度会員業績報告                            |
| 昭和六十一年度会員業績報告                            | 彙報・執筆者紹介 佛教文学会員名簿（佛教文学会員名簿補訂分）           | 彙報・執筆者紹介 佛教文学会員名簿（佛教文学会員名簿補訂分）           |
| 彙報・執筆者紹介 佛教文学会員名簿（佛教文学会員名簿補訂分）           | 佛教文学会員名簿（佛教文学会員名簿補訂分）                    | 佛教文学会員名簿（佛教文学会員名簿補訂分）                    |
| 佛教文学会員名簿（佛教文学会員名簿補訂分）                    | 佛教文学会員名簿（佛教文学会員名簿補訂分）                    | 佛教文学会員名簿（佛教文学会員名簿補訂分）                    |

|                              |                              |                              |
|------------------------------|------------------------------|------------------------------|
| 第十一号（昭和六十二年三月発行）             | 『河海抄』注「女人為業障」の句を中心とに         | 『河海抄』注「女人為業障」の句を中心とに         |
| 『河海抄』注「女人為業障」の句を中心とに         | 『今昔物語集』にみる墮地獄者の位相            | 『今昔物語集』にみる墮地獄者の位相            |
| 『今昔物語集』にみる墮地獄者の位相            | 仲井 克巳                        | 仲井 克巳                        |
| 仲井 克巳                        | 『月講式』再検 磯 水絵                 | 『月講式』再検 磯 水絵                 |
| 『月講式』再検 磯 水絵                 | 『発心集』卷三・第九話「樵夫独覺の事」について      | 『発心集』卷三・第九話「樵夫独覺の事」について      |
| 『発心集』卷三・第九話「樵夫独覺の事」について      | 道家を悩ます人々—慶政筆錄『比良山古人靈託』成立の背景— | 道家を悩ます人々—慶政筆錄『比良山古人靈託』成立の背景— |
| 道家を悩ます人々—慶政筆錄『比良山古人靈託』成立の背景— | 『沙石集』にみられる往生思想の一考察           | 『沙石集』にみられる往生思想の一考察           |
| 『沙石集』にみられる往生思想の一考察           | —「浄土房遁世事」を中心として—             | —「浄土房遁世事」を中心として—             |
| —「浄土房遁世事」を中心として—             | 『とはづがたり』神祇説話考                | 『とはづがたり』神祇説話考                |
| 『とはづがたり』神祇説話考                | 『とはづがたり』神祇説話考                | 『とはづがたり』神祇説話考                |
| 『とはづがたり』神祇説話考                | 『とはづがたり』神祇説話考                | 『とはづがたり』神祇説話考                |

|  |  |  |
|--|--|--|
| 第十二号（昭和六十三年三月発行）                         | 和讃の受容と変貌 武石 彰夫                           | 和讃の受容と変貌 武石 彰夫                           |
| 和讃の受容と変貌 武石 彰夫                           | 日本靈異記の文体に関する一試論—その多層性の意味するもの— 上田 設夫      | 日本靈異記の文体に関する一試論—その多層性の意味するもの— 上田 設夫      |
| 日本靈異記の文体に関する一試論—その多層性の意味するもの— 上田 設夫      | 釈教歌における題詞と詠法について                         | 釈教歌における題詞と詠法について                         |
| 釈教歌における題詞と詠法について                         | 方丈記「おろそかなれど哺を甘くす」私見                      | 方丈記「おろそかなれど哺を甘くす」私見                      |
| 方丈記「おろそかなれど哺を甘くす」私見                      | 乾 克己                                     | 乾 克己                                     |
| 乾 克己                                     | 享受と再編—西行物語の伝統と形成— 檜垣 泰代                  | 享受と再編—西行物語の伝統と形成— 檜垣 泰代                  |
| 享受と再編—西行物語の伝統と形成— 檜垣 泰代                  | 『秋夜長物語』考—仏敎文學研究の事例として— 廣田 哲通             | 『秋夜長物語』考—仏敎文學研究の事例として— 廣田 哲通             |
| 『秋夜長物語』考—仏敎文學研究の事例として— 廣田 哲通             | 『法華百座聞書抄』をめぐる基礎的研究（その二）—法華百座講經の諸相— 山口 真琴 | 『法華百座聞書抄』をめぐる基礎的研究（その二）—法華百座講經の諸相— 山口 真琴 |
| 『法華百座聞書抄』をめぐる基礎的研究（その二）—法華百座講經の諸相— 山口 真琴 | 真福寺藏「因縁処」について 山崎 誠                       | 真福寺藏「因縁処」について 山崎 誠                       |
| 真福寺藏「因縁処」について 山崎 誠                       | 『貴船の本地』の鬼の名—法華經との関連                      | 『貴船の本地』の鬼の名—法華經との関連                      |

|  |  |  |
|--|--|--|
| 第十三号（平成元年三月発行）                         | 和讃の受容と変貌 武石 彰夫                         | 和讃の受容と変貌 武石 彰夫                         |
| 和讃の受容と変貌 武石 彰夫                         | 〔シンポジウム〕報告 和歌と仏教 「おろそかなる涙」をめぐつて        | 〔シンポジウム〕報告 和歌と仏教 「おろそかなる涙」をめぐつて        |
| 〔シンポジウム〕報告 和歌と仏教 「おろそかなる涙」をめぐつて        | —古今和歌集考—                               | —古今和歌集考—                               |
| —古今和歌集考—                               | 中世の僧侶歌人—三について 新井 栄蔵                    | 中世の僧侶歌人—三について 新井 栄蔵                    |
| 中世の僧侶歌人—三について 新井 栄蔵                    | 久保田 淳                                  | 久保田 淳                                  |
| 久保田 淳                                  | 田島 輩堂                                  | 田島 輩堂                                  |
| 田島 輩堂                                  | 論文                                     | 論文                                     |
| 論文                                     | 『日本靈異記』中巻第三十緑考—「子を渊に捨てる」説話の成立事情— 米山 孝子 | 『日本靈異記』中巻第三十緑考—「子を渊に捨てる」説話の成立事情— 米山 孝子 |
| 『日本靈異記』中巻第三十緑考—「子を渊に捨てる」説話の成立事情— 米山 孝子 | 『三宝絵』の世界観 仲井 克己                        | 『三宝絵』の世界観 仲井 克己                        |
| 『三宝絵』の世界観 仲井 克己                        | 若宮二所 をめぐつて— 小川 寿子                      | 若宮二所 をめぐつて— 小川 寿子                      |
| 若宮二所 をめぐつて— 小川 寿子                      | 『梁塵秘抄』35番歌私見—「龍の駒」及び「若宮二所」をめぐつて— 小川 寿子 | 『梁塵秘抄』35番歌私見—「龍の駒」及び「若宮二所」をめぐつて— 小川 寿子 |
| 『梁塵秘抄』35番歌私見—「龍の駒」及び「若宮二所」をめぐつて— 小川 寿子 | 眞福寺藏「因縁処」について 山崎 誠                     | 眞福寺藏「因縁処」について 山崎 誠                     |
| 眞福寺藏「因縁処」について 山崎 誠                     | 『貴船の本地』の鬼の名—法華經との関連                    | 『貴船の本地』の鬼の名—法華經との関連                    |

後藤 昭雄

彙報  
佛教文学会会則

佛教文学会会員名簿（佛教文学会会員名簿補訂分）

事務局だより

## 第十五号（平成三年三月発行）

〔シンポジウム〕報告 物語と仏教  
物語と仏教 出雲路・修  
出家談と悲恋逝世談

物語精神と仏教との関連 渡辺 貞麿

〔論文〕『さざめごと』と天台教学 関口 忠男

わが国初期僧伝の形成—『梁高僧伝』〔訳経〕篇の日本の変容 藏中しのぶ

建礼門院徳子の戒師・印西について 大塚あや子

鴨長明の回帰 河原木有二

『四生の歌合』と長嘯子『虫歌合』 小坂 典子

彙報

## 第十六号（平成四年三月発行）

〔平成三年度大会シンポジウム〕仏教行事と文学 報告（一）

平安文学と仏教行事 山中 裕

## 〔同〕報告（二）

『とばずがたり』における仏事 阿部 泰郎

院政期の本説と日本紀 小川 豊生

『眞名本 曽我物語』共時体験の回路—道行き描写に於る救済の表現構造と伝承—

『法華百座聞抄』をめぐる基礎的研究（その三）—「千日講」の構造— 龍口 恒子

『日本靈異記』観音説話と法会唱導 會田 実

法然上人のご遺文について 藤堂 恭俊

人麻呂歌の水泡と經典 寺川眞知夫

『今昔物語集』天竺一部の年代分布—「仏

後」「仏前」の意味するもの— 原田 信之

結縁の暁—慈尊「三会の暁」考 小島 裕子

続詞花集「釈教」部について 鈴木 德男

琉球神道記の世界 小峯 和明

ニューヨーク公立図書館スベンサー・コ

レクション蔵「役行者繪巻」—解説と翻刻

『佛教文學』既刊号総目次 辻 英子

- 第十九号（平成七年三月発行）  
わが国初期僧伝の彌琢—大安寺における漢文伝述作と『梁高僧伝』— 藏中しのぶ  
円仁筆『入唐求法巡礼行記』と『江談抄』の吉備入唐譚—生成される「識縛」の言説 日本書  
日本篇— 深沢 徹  
冥界における白河上皇をめぐる問題—『宝物集』の記事を発端として

- 彙報  
佛教文学会会則・役員名簿  
事務局だより

## 第二十号（平成八年三月発行）

- 彙報  
佛教文学会会則・役員名簿  
事務局だより

## 第二十一号（平成九年三月発行）

- 彙報  
佛教文学会会則・役員名簿  
事務局だより

- 第十九号（平成七年三月発行）  
わが国初期僧伝の彌琢—大安寺における漢文伝述作と『梁高僧伝』— 藏中しのぶ  
円仁筆『入唐求法巡礼行記』と『江談抄』の吉備入唐譚—生成される「識縛」の言説 日本書  
日本篇— 深沢 徹  
冥界における白河上皇をめぐる問題—『宝物集』の記事を発端として

- 彙報  
佛教文学会会則・役員名簿  
事務局だより

俊成における無常感の克服について

檜垣 孝幸

日本におけるシビ王本生譚 君野 隆久

中國故事の終極－スペンサー「コレクション」

藏絵巻『吳越物語』をめぐって－

楊 晓捷

仏教説話文学に見られる「眞実の陳述」

石橋 優子

佛教文学会会則・新入会員名簿・会員名簿

事務局だより

彙報

中世中期の歌論に投影した中国詩－黃山谷の詩風－

石原 清志

〔論文〕

日本靈異記の「貧窮」について

山口 敦史

『道賢上人冥途記』の成立－『北野文叢』所収永久寺本を中心にして－

山本 五月

参籠の宗教的考察－定型表現を中心に－

日本靈異記の「貧窮」について

夜叉 外村 彰

〔論文〕

日本靈異記の「貧窮」について

山口 敦史

『道賢上人冥途記』の成立－『北野文叢』所収永久寺本を中心にして－

山本 五月

参籠の宗教的考察－定型表現を中心に－

龍口 恭子

〔合同例会講演・シンポジウム〕

今昔遠近－阿就譲女そのほか－本田 義憲

（表題）から見えるもの－「鈴鹿本今昔物語集から」－

芝波田好弘

浅井了意本「撰要目録卷」

武石 彰夫

岡本かの子「みちのく」－「待つ」をめぐつて－

外村 彰

夜叉 長尾佳代子

彙報

佛教文学会会則

事務局だより

西行和歌観の一考察－密成仏思想とのかわりを求めて－

君野 隆久

藤原成通の清水寺高欄蹴鞠説話をめぐつて

高橋 秀城

村戸 弥生

明恵伝記資料における捨身と菩薩本生譚

けてー

彙報

佛教文学会会則

事務局だより

小峯 和明

『塙囊鈔』の「親勝寺縁起」—総問の編纂

意識に關わってー

大谷大学図書館蔵『親鸞聖人善光寺如來告物語』について 小助川元太

是心作仏についての尋思 菊池政和

彙報

第二十六号(平成十四年三月発行)

〔大会シンポジウム〕

中世の紛争解決と仏教説話

—『沙石集』を中心に—

上杉 和彦  
伊藤 聰

重源と宝珠

〔論文〕

『日本靈異記』と『梵網經略疏』 小林真由美

『日本靈異記』の「祟」と「誅」—東ア

ジアの宗教思想と因果応報— 山口 敦史

小町の歌と仏典

—『古今集』を中心に— 中野 方子

『三宝絵』下巻「盂蘭盆」考 横田 隆志

東松本『大鏡』における道長出家記事を

めぐって 中島 俊博

明惠上人仮託偽書『邪正問答抄』とその

伝本 中山 一麿

佛教文学会会員名簿 訂正一覧 小助川元太

事務局だより 菊池政和

家郷 隆文